

売れ行き好調で話題となっている大型物件の「売れる要素」は何か。トータルブレイン(港区・久光龍彦社長)は、2008年に供給され、販売が好調に移している話題の物件について、好調の理由を探った。

希少性の高い立地で抜群の商品力を持つ物件でも、割高感の強い物件は厳しい状況にあり、郊外の駅遠立地物件や、市場相場から突出した高値物件は、タワー型などの差別化商品であっても苦戦傾向にあると言

う。売れる要素として『立

売れ行き好調 トータルブレインまとめ

話題の大型物件を見る

地』、『商品』、『価格』 歩3分、小松製作所の工場跡地に立地する。 駅から徒歩2分に位置する。金町駅周辺では駅を挟んで二つの大規模再開発があるにもかかわらず、価格

「フォレシウム」と「ヴィナシス金町タワーレジデン」 周辺との価格差による割安感を感じられる。分譲単価は坪当たり約80万円、仮に「フォレシウム」(東レ 住戸面積75平方メートルの場合、のタワー物件のため大量集 今までの大型物件はスケールの話題性で一気に売り切れることも可能だった。今後は『立地』、『商品』、『価格』の三つがそろわない

「フォレシウム」「ヴィナシス金町」

立地・商品・価格の3要素 高レベルで提供

建設・相鉄不動産・京急不動産・世界貿易センタービルディング・京阪電鉄不動産 非常に大きい。 「ヴィナシス金町タワー」の理由として、やはり割安感を感じられる。分譲単価は坪当たり約225万円。周辺エリアは坪当たり200万円と、好結果を出すことは難しいと言つ。さらに、物件

総戸数777戸)は、レジデンス」(コスモスイセン)は、総戸数47 急大師線の東門前駅から徒歩6戸)は、JR常磐線金町